

インターネットを活用した地域活動について

山岸連合会公認ホームページ「うえぶ山岸」の開設

住みよい街づくり委員会

研修会プロジェクト責任者 中村喜一

住みよい街づくり委員会組織の概要

現在、私共の活動する山岸、下米内地域は、既存の10の町内会が連合会を構成し活動している地域であります。当委員会は以下に挙げる点を考慮する為、町内会連合会とは別の組織として構成しております。（既存の町内会の公認を得、広報活動の一部を受託する形式をとっています。）

・スポンサーメンバー募集の必要性

設立段階から地域商店街の活性化とホームページ等の積極的活用を計画していた為、目的達成とイニシャルコスト、ランニングコスト等の費用捻出を考えた場合、地域商店街事業者の商業行為を（広告、インターネット販売等）一定水準容認し、参加企業を募集する必要がある。

・地域史跡の祭事等に関する活動の必要性

地域の特性上、町内に「幾春も華の恵みの露やこれ 宝の珠の盛る岡山」に代表されるような歴史のある寺や神社等が存在する。ホームページ上の優良なコンテンツになる可能性が高いが、宗教法人という特性もあり、それに対する配慮の必要がある。（現在、神社は許可を得、活動日程等を掲載）

・既存町内会に負担を強いる干渉排除の必要性

既存町内会が望まない干渉をしないとの考えから、ホームページを活用する、しないは、各町内会の自由に任せ、活用しないとしても負担等が発生しないようにする必要がある。

又、以下に挙げる点を考慮する為、委員長、会長等の代表者が組織内に存在しない、プロジェクト毎に責任者を設けて活動するタイプの組織（プロジェクト型組織）として構成されています。

・組織形骸化防止の必要性

様々な種類の活動を想定した場合、プロジェクト毎の内容に合わせた専門的なスキルを有するリーダーによるスピーディーな計画の立案、実行を可能とするよう組織体制をその都度、変更する必要がある。

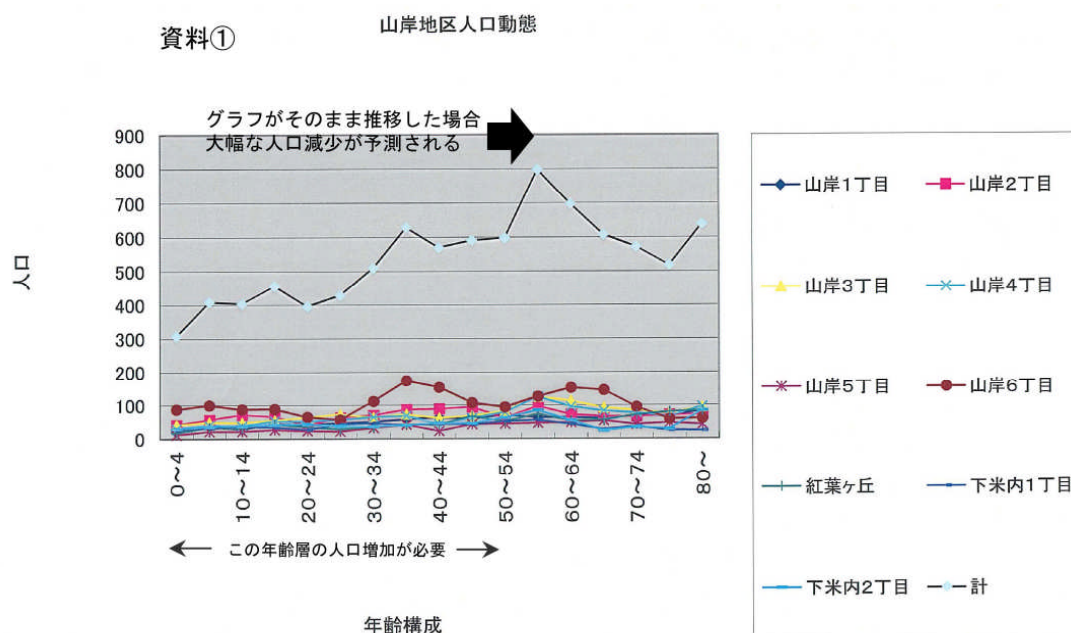
・組織運営上の必要性

各会員の発言の自由、立場の平等、責任の明確化（無責任発言の防止）を維持する必要がある。

解決目標とする課題とIT化取り組みのきっかけについて

現在の状況について

山岸、下米内地域は、昭和30年代後半よりの民間宅地造成により住宅団地化が既存集落から進行した地域です。この様な同時期に同世代の人間が一斉に居住する傾向が強い住宅団地は、その特性として、団地居住者の高齢化が一挙に進み、団地人口の都市部流出による減少や交通、近隣商店街の衰退、不動産の資産価値の急速な目減り等の様々な問題が時間経過とともに発生してくると言われています。山岸、下米内地区の人口動態データ（資料①参照）を参考に現状のままの人口、年齢構成で時間経過したと想定した場合、将来、高齢化による大幅な人口減少が起こり、様々な問題が起こる事が予想されます。実際、地域を見渡すと、老朽化した空き店舗、空家が相当数見受けられ、商店、事業所等の衰退は著しく、問題が現在進行形で発生していると感じられます。



地域が抱える問題点について

問題を解決するためには、人口の少ない20歳代～40歳代の居住者、若手事業者を地域内で増加させる事が重要であり、その為のプロジェクトや地域全体での議論の場が必要と考えられるのですが、実際プロジェクトの策定や議論を考えた場合、本来中心になってもらいたい、20代～40代の地域内の若手居住者は、近年のライフスタイルの変化（夫婦共働き増加等）により、場所と時間を決めてのコミュニケーションが困難な場合が多く、それに伴い、町内に住所を構える事業

者と町内会世帯とのコミュニケーションも減り、事業者は事業縮小化の方向が顕著であるように感じられます。

解決策としての地域 IT 化の取り組みについて

この様な現状を踏まえ、その打開策を考えた場合、ホームページやメーリングリスト等の IT ツールを使用してのコミュニケーションが有効ではないかと考え、計画したのが地域 IT 化取り組みのきっかけとなります。 IT ツールを利用した場合、実際に対面しない状態でもかなり密度の高い打ち合わせや情報の広域発信が可能となります。 又、同時参加でなくても対応が可能になる為、参加者はスキマ時間による対応で地域活動に参加する事が可能になります。 問題になるのは、イニシャルコスト、ランニングコスト等の費用の捻出ですが、幸い、私どもの地域では、地域内で使用している案内掲示板、回覧板等に地域事業者が広告を掲載する代わりに施工費用、購入費用等を負担する（資料②参照）と言う慣習が存在する為、事業者と共同することによりそちらの費用の捻出も可能となりました。

資料②



実際の取り組みについて

実際の取り組み① 各関係者へのメリット訴求について

実際の取り組みは各関係者それぞれのメリットを説明し理解を得ることからはじめました。

- ・**全体のメリット**・・・町内会全体での情報共有化が図りやすくなりコミュニケーションの活性化につながる（特に若い世帯への情報発信がスムーズになる）
- ・**地域事業者のメリット**・・・参加した場合、ホームページに自社の連絡先やリンクを掲載する事が可能となり、自社の宣伝広告になる。
- ・**町内会のメリット**・・・無料で各町内会がホームページを持つ事が可能となる。委員会からの貸与の形ではあるが、各町内のページはそれぞれが自由に編集可能とする事でそれぞれの町内の運営には干渉、介入が無い状態での使用が可能となる。（各町内会が勝手に利用出来る。且つ、使用しない場合でもデメリットが無い）
- ・**地域防災活動関係者のメリット**・・・災害時に電話・携帯が不通になった場合においても、インターネット回線は不通になりにくい性質があるので、携帯パケット通信等により回線に接続出来ればインターネットにアクセス出来る可能性がある。（アクセス集中によるサーバーダウンに対しての耐性が強い twitter を利用する）それにより災害時の地域内情報の発信が可能なのではないか？

実際の取り組み② 想定される問題点と解決策の説明について

想定される問題点は、予め調査して解決策を説明しました。

・費用に関して

Q、初期作成費用とサーバーのレンタル費用をどのように賄うのか？

A、立ち上げの際のページ作成は、委員会メンバーが請け負う事で無料とする事が可能（但し複雑な構造のホームページの作成は不可。デザインは任せる事が条件、更新は別途）。年間のサーバー維持費は委員会スポンサーメンバーの会費で賄う事が可能であると思われる。

・維持管理、ホームページの更新作業に関して

Q、全体のホームページは作成出来たとしても各町内会で編集が難しいのではないか？

A、近年、技術の革新により編集ソフト等が無くてもブラウザ上で編集可能なシステムが出来た。（資料③参照）ワープロソフトが編集出来る程度のノウハウで編集が可能。人材が確保出来なくても初期ページをつくって置くことにデメリットは無い。人材が確保出来た時

点で利用すれば良い。



資料③

・IT 技術の革新に関して

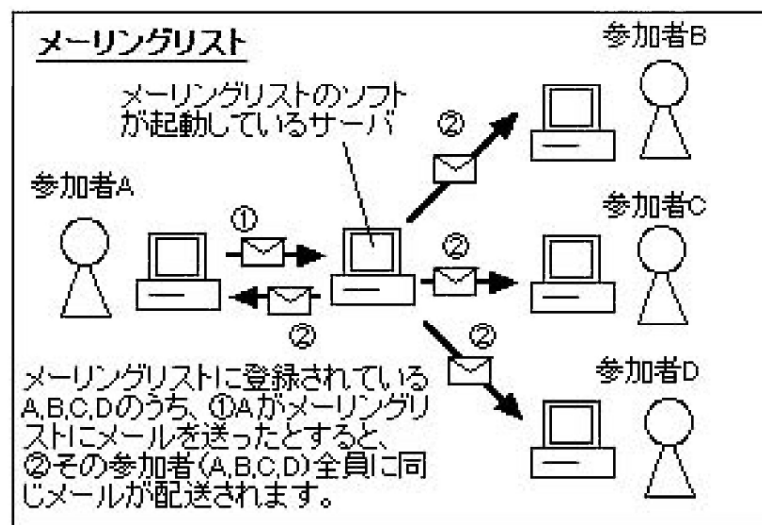
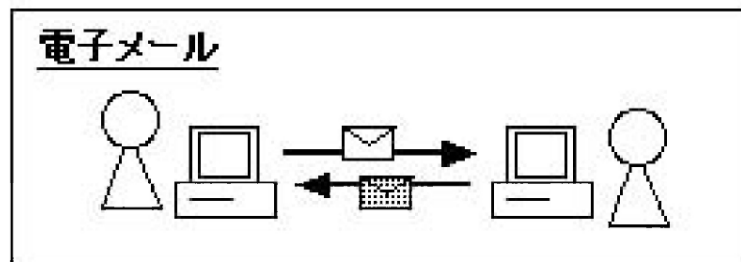
- Q**、革新の早い IT 分野において、地域単体が、勝手に活動することにより出来上がったシステムは、近い将来、新しいシステム普及の障害になるのではないか？
- A**、将来、現在よりも利便性の高い IT システムが開発、活用される可能性は高い確率で考えられる。しかしながら、全ての住人がそれを活用する事は難しいと思われる(住人のスキル習得が追いつかない)。その場合においても、地域内で IT 活用スキルが高い住人が予めネットワーク連携して情報共有化していれば、町内会内の互助・共助関係と結びつけて普及の促進がスムーズになると考えられる。IT システムを作ることが目的と言うよりも人材育成や組織化を目的としたい。

・他システムとの比較に関して

- Q**、Facebook 等の SNS、twitter 等のミニブログだけの活用や匿名掲示板の方が良いのではないか？
- A**、現在の町内会活動でも個人情報等のプライバシーの件はしばしば問題となる。Facebook のような実名 SNS の場合、「上司からの Facebook 申請をどう断るか?!」に類似するような問題発生が

想定される。又、匿名性を高めた場合、モラルハザードや無責任発言が多発する恐れが考えられる。 委員会規約で制御された、町内住人による紹介加入制、及びメーリングリスト（資料④参照）による連携の方が、各メンバーのプライバシーに配慮した適度な距離感（半匿名）を作り出し易いと考えられる。又、システムが単純な為、活用スキルの習得が容易であると思われる。

資料④



取り組みの結果・成果、今後の課題について

成果・結果① ホームページに関する結果・成果、今後の課題

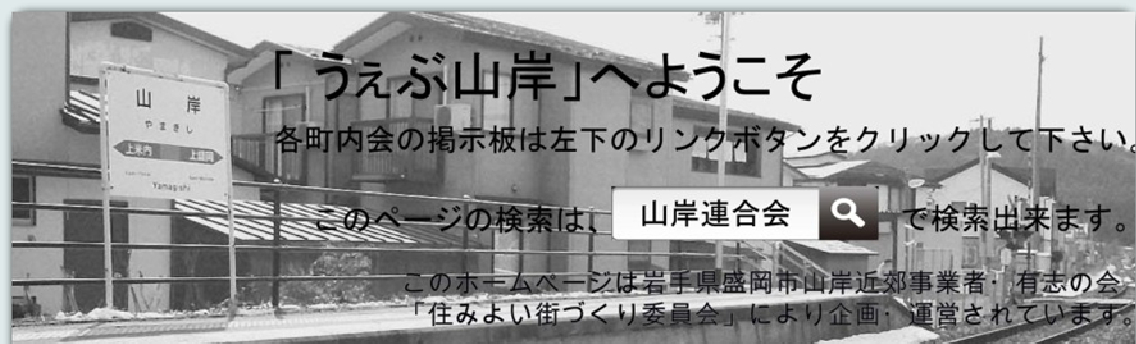
町内会ホームページの作成に関して各町内会、神社等の了解を得る事は思っていたより困難ではありませんでした。しかしながら各町内会でページの編集を行なってもらうのは、簡単とは言え、各町内会に編集担当がいなければならず、少々ハードルが高いようです。(ほとんどの町内会が白紙ページの状態になっている為、お世辞にも成功しているとは言えないと思っています)

そんな中でも IT 活用スキルが高い担当者が存在する下米内町内会は、先行して町内会ブログを発信していた経緯もあり飛び抜けて先行している事実もあり、早期に各町内会の編集担当者を見つける事が重要と感じます。

又、対外的な見栄えの関係もある関係上、初期ページとして通常考えられる各町内会の紹介や所在場所の地図、年間行事予定表ぐらいは、内政干渉は極力さけるとは言え、委員会内のメンバーでお手伝い作成サービスが必要と感じています。

成果・結果② メーリングリストに関する結果・成果、今後の課題

ホームページと同時に作成したメンバー同士の打ち合わせ用メーリングリストは、徐々に登録者数が増え現在19人となっています。登録者数の増加に伴い、目的としていた「時間と場所を定めて会議を設けなくてもメンバーのスキマ時間での対応で打ち合わせや様々な問題解決が図る事が可能」が実現したような事例が出始めております。時間は少々(相当?!)かかる事が想定されますが、各町内会の班・組数(10町内合計312組織)と同等程度まで登録者数が増えれば、町内会内、各班・組の互助関係と組み合わせて回覧板レベルの情報共有や全体会議に近いシステムになるのではないかと期待しております。又、コストの問題がありますが、携帯メールへの対応が可能になると参加者の増員が加速するのでは、との感覚もあります。(パソコンは持ってないけど携帯端末は所持している。携帯メールしかチェックしない。と言う方々が結構多いです。)



このページの検索は、 で検索出来ます。

このホームページは岩手県盛岡市山岸近郊事業者・有志の会「住みよい街づくり委員会」により企画・運営されています。

▶ ホーム

▶ 山岸町内会

▶ 御弓町内会

▶ 外山岸二丁目町内会

▶ 紅葉が丘町内会

▶ 山岸三丁目町内会

▶ 山岸四丁目町内会

▶ 山岸五丁目町内会

▶ 名乗町内会

▶ 河清水町内会

▶ 下米内町内会

▶ 岩谷稲荷神社

▶ 規約

▶ メンバース

「住みよい街づくり委員会」
へのお問合せ

お名前 *

メールアドレス *

メッセージ *

⚠ 注意: *は必須項目です

「うえぶ山岸」お知らせ Twitter \(*´▽`)/

🗨️ ロードレース大会が始まります。(´▽`) 晴れて良かった。 <http://t.co/tnsfvww>

6日前

🗨️ 明日は中津川ロードレース大会です。(´▽`) 晴れると良いですね。

6日前

🗨️ 現在テスト運営中です。(´▽`)ノ

231日前

「うえぶ山岸」の使い方 \(@_@)/

■ 「うえぶ山岸」は、「山岸連合会」所属の町内会が利用出来るホームページ掲示板です。ご利用の際は、各町内会で編集担当者を選任して左下の「住みよい街づくり委員会」への連絡フォームにて連絡下さい。後日確認の上、編集用のページアドレスとパスワードをご連絡いたします。

■ 不測の事態に備えバックアップ等は、各町内会で行う様にしてください。「住みよい街づくり委員会」はホームページ掲示板「うえぶ山岸」使用上におけるいかなる損害等にも責任を負えません。管理の関係上「住みよい街づくり委員会」メンバーは各町内会のページを含むホームページ全体において編集を行う場合があります。

■ 使い方の詳細は、<http://jp-m.jimdo.com> を参考にして下さい。このホームページは「Jimdo オンラインホームページ作成サービス」と言うシステムで作られています。

■ 各町内会の担当者の編集出来る範囲は町内会のページまでです。デザインの変更、ページの増設等は「住みよい街づくり委員会」の担当者までご相談下さい。

■ Twitterも同時開設しました。是非ご利用下さい。

「住みよい街づくり委員会」スポンサーメンバーのご紹介 m(_)_m

■ 法人メンバーの入会については、事業所所在地(過去の所在地可)町内会の推薦が必要です

業種名 あ行

業種名 か行

ガス

■ 有限会社 阿部燃料
山岸1丁目2-41 TEL019-641-0884

■ 有限会社ミウラ燃機
山岸6丁目10-12 TEL019-662-8854
プロパンガス、灯油、器具販売、修理、お気軽にどうぞ。

建設(けんせつ)

■ 有限会社 くらし建築工房
山岸3丁目1-4 TEL019-665-1616
地域のお客様の「こまった」を「よかった」をモットーに
お住まいの修繕・リフォームはお気軽にご相談ください。

業種名 さ行

業種名 た行

業種名 な行

業種名 は行

不動産(ふどうさん)

■ 東京土地販売株式会社
菜園一丁目7番22号 東京土地ビル5階 TEL 019-652-4111
山岸六丁目「プリムローズ河清水」最終分譲【2区画】！！
不動産のこと、新築工事・リフォーム・雑工事の相談もお気軽にご相談下さい。

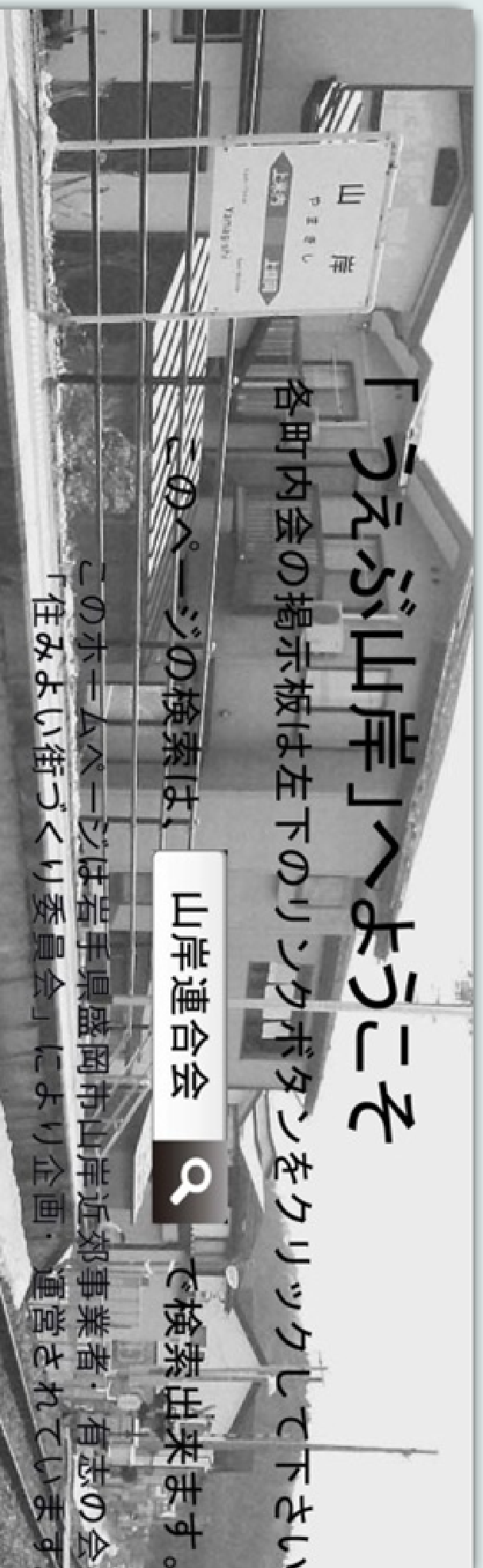
■ 山岸住宅産業有限公司
紅葉が丘2番24号 Tel 019-662-5353
創業1984年 不動産の賃貸・売買・管理・各種コンサルティング
地域密着営業の不動産屋です。お気軽にどうぞ。

業種名 ま行

業種名 や行

業種名 ら行

業種名 わ行



- ▶ ホーム
- ▶ 山岸町内会
- ▶ 御子町内会
- ▶ 外山岸二丁目町内会
- ▶ 紅葉が丘町内会
- ▶ 山岸三丁目町内会
- ▶ 山岸四丁目町内会
- ▶ 山岸五丁目町内会
- ▶ 名乗町内会
- ▶ 洞清水町内会

岩谷稻荷神社

↑ 岩谷稻荷神社の祭神は倉稻魂命(うかのみたまのみこと)、建御名方命(たけのみかたのみこと)で、第三十二世 南部利幹(なんぶとしもと)公の宝永七年(1710年)六月十日に創建されました。岩谷稻荷神社は、山岸地域の守護神であり、衣食住の豊かさを司り、家内安全、学業成就、縁結びの神様として毎年五月九日には春季例大祭を行なっております。

(岩谷稻荷神社「御創建三百周年記念事業」趣意書より抜粋)

B | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 | 検索 | 印刷 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 | 印刷 | 検索

岩谷稻荷神社の祭神は倉稻魂命(うかのみたまのみこと)、建御名方命(たけのみかたのみこと)で、第三十二世 南部利幹(なんぶとしもと)公の宝永七年(1710年)六月十日に創建されました。岩谷稻荷神社は、山岸地域の守護神であり、衣食住の豊かさを司り、家内安全、学業成就、縁結びの神様として毎年五月九日には春季例大祭を行なっております。

(岩谷稻荷神社「御創建三百周年記念事業」趣意書より抜粋)

ブラウザ:

